

2003 春日井市民第九演奏会



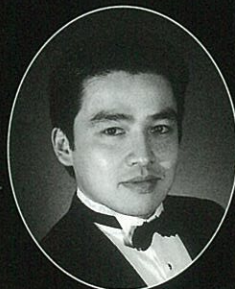
指揮
ヨッヘム・ホッホシュテンバッハ



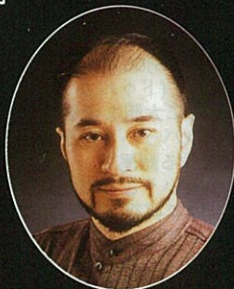
ソプラノ
並河 寿美



アルト
児玉 祐子



テノール
小貫 岩夫



バス
片桐 直樹

とき **2003年12月7日** (日) 午後3時開演 (午後2時開場)

ところ **春日井市民会館**

入場料 **1,000円** (全自由席)

ソプラノ 並河 寿美 アルト 児玉 祐子
テノール 小貫 岩夫 バス 片桐 直樹
指揮 ヨッヘム・ホッホシュテンバッハ

合唱 春日井第九合唱団 合唱指導 吉川 朗
管弦楽 春日井市交響楽団 合奏指導 加藤完二

曲 目 ベートーヴェン作曲
交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」

■ チケット取扱い場所(発売日10/3(金)より)

春日井市民会館・文化フォーラム春日井2階文化情報プラザ・春日井市役所2階情報コーナー・春日井市内各ふれあいセンター(味美、高蔵寺、南部、西部)・坂下公民館・清水屋案内所・サンマルシェ案内所・ルネック7階管理事務所

主催/春日井市・(財)かすがい市民文化財団・春日井市教育委員会
2003春日井市民第九演奏会実行委員会

共催/春日井第九合唱団・春日井市交響楽団

後援/中部大学・中日新聞社

お問い合わせ先

2003春日井市民第九演奏会実行委員会 ☎0568-51-1111
文化フォーラム春日井・文芸館 ☎0568-85-6868

PROFILE

ソプラノ 並河 寿美 Hisami Namikawa

大阪音楽大学音楽学部卒業。専攻科・大学院オペラ研究室修了。門田泰子、田原祥一郎の両氏に師事。こうべ市民音楽祭大賞。全日本学生音楽コンクール大阪大会第1位。「フィガロの結婚」の伯爵夫人、「コシ・ファン・トゥッテ」のフィオルディリージョとドラベッラ、「カルメン」のミカエラ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」のサントウツァなど多数に出演。さらに、ルーマニアのトゥルグ・ムレシュ市で開催された「冬の音楽祭」に「カヴァレリア・ルスティカーナ」（演奏会形式）のサントウツァで出演。「第九」をはじめ、モーツァルトの「レクイエム」「戴冠式ミサ」「ミサ・プレヴィス」。フォーレの「レクイエム」、オルフの「カルミナ・ブラーナ」ほかのソリストをつとめる。現在、二期会会員。垂水区音楽協会、西宮音楽協会、神戸音楽家協会各会員。兵庫県立西宮高等学校音楽科非常勤講師。大阪城南女子短期大学非常勤講師。今年9月には、ヴェルディの「ドン・カルロ」のエリザベッタ役で出演予定。

アルト 児玉 祐子 Yuko Kodama

大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業。1985年に関西二期会でオペラデビュー以降、オペラ歌手として様々な役柄にオリジナリティー溢れる的確な個性を演じ分け好評を博す。「コシ・ファン・トゥッテ」のドラベッラ、「ラインの黄金・ワルキューレ」のフリッカ、「ナクソス島のアリアドネ」の作曲家、「こうもり」のオルロフスキーなど、レパートリーは30役に及び、特に1996年「カルメン」のタイトルロール・カルメン役では、高い歌唱力と優美な舞姿で観客を魅了した。またソリストとしては「第九」「メサイア」「レクイエム」などを始めとして現代作品の初演や各種演奏会でも幅広く演奏活動を続けている。1999年ドイツ歌曲による「演連コンサートOSAKA・児玉祐子メゾ・ソプラノリサイタル」を開催。その業績により平成11年度大阪文化祭賞奨励賞を受賞。現在・京都女子大学・大阪女子学園高等学校非常勤講師、関西二期会会員・理事、日本シュベルト協会会員、日本演奏連盟会員。

テノール 小貫 岩夫 Iwao Onuki

北海道小樽市出身。同志社大学神学部を卒業後、大阪音楽大学首席卒業。オペラ研修所第11期修了。1998年度文化庁派遣芸術家在外研修員として1年間ミラノに留学。飯塚新人音楽コンクール大賞（文部大臣奨励賞他）、第5回コンセール・マロニエ21最優秀賞受賞。音大在学中の1995年に抜擢され、「魔笛」のタミーノでテオ・アダムと共演デビュー（堺シティオペラ）。この成功により翌年同役でケムニッツ市立歌劇場（ドイツ）に招聘出演。日生劇場、東京室内歌劇場、びわ湖ホールなどに出演。2002年1月には三枝成彰作曲オペラ「忠臣蔵」に岡野金右衛門役で出演し新国立劇場へ主役デビューを飾った。「第九」の他、「メサイア」、「レクイエム」（ヴェルディ、モーツァルト）などの宗教曲も歌っている。指揮者では若杉弘や大野和士をはじめとする多くの指揮者と共演。林誠、故福田生次郎、松本美和子、V・テッラノーヴァ、R・ネーグリの各氏に師事。二期会、日伊音楽協会、堺シティオペラ各会員。

バス 片桐 直樹 Naoki Katagiri

京都教育大学音楽科卒業。東京芸術大学大学院オペラ科修了。1988年関西二期会オペラ公演《ドン・ジョヴァンニ》で、レボレロ役でデビュー。歌唱、演技ともに高い評価を得る。関西二期会を中心に《愛の妙薬》《ラインの黄金》《フィガロの結婚》《蝶々夫人》《ラ・ボエーム》など、数々のオペラ公演に出演し、明るく気品のある声質と端正な音楽性、存在感のある演技力で好評を博す。年末のベートーヴェン《第九》のバリトン・ソロとして各方面で活躍している他、

バッハの《マタイ受難曲》をはじめ、ヘンデルの《メサイア》、ヴェルディ《レクイエム》など、バロックから現代に至るまで、オラトリオや宗教曲などのソリストとして、著名指揮者やオーケストラとの共演も多い。先の「市民オーケ・フェスタ in Kasugai: オペラってなに?」（8月25日）に《魔弾の射手》のカスバル役で出場。春日井デビューを成功で飾る。福島慶子、喜多村彪、木川田澄、中山悌一、原田茂生の各氏に師事。関西二期会会員。京都音楽家クラブ会員。相愛大学講師。

指揮者 ヨッヘム・ホッホシュテンバッハ Jochem Hochstenbach

指揮者でピアニスト。1970年オランダのティバークに生まれました。1984年からユトレヒトの音楽院でピアノを学び多くの賞を得て卒業。1992年スペインやドイツやチェコのマスタークラスで学ぶ。1994年からウィーンの学生オーケストラの指揮をする。オーストリア、イタリア、日本、フィンランド、エストリア、ハンガリーなどで演奏会を開く。1997年ウィーン音楽院をディプロマを得て終了。1997年よりリンツの州立歌劇場でコレペティトールを務める。1999年に同劇場の音楽監督に昇格。以来、《フィガロの結婚》など120の歌劇作品を上演。

合唱 春日井第九合唱団

平成5年12月の春日井市制50周年は、市民の手によるベートーヴェンの「第九演奏会」の春日井初演によって盛大に祝われました。この演奏会を記念して作られたのが、「春日井第九合唱団」です。以後、毎年12月には、新しく募集した市民も加わって、220名を越すメンバーが常に新鮮なベートーヴェンの「第九交響曲」を歌い継いできています。創立以来、ベテランの吉川朗先生をはじめ、多くの優れた音楽家のご指導で、技術的にも、音楽的にも、完成度の高い「第九」演奏を心がけています。平成7年からは、年末の「第九」の本練習に入る前に、特別練習として数々の合唱作品に挑戦しています。本年7月5日（土）には、文化フォーラム春日井の交流アトリウムにおいて「つたえたい 日本のこころ」と題して演奏会をいたしました。また、愛環音楽連盟にも加入して、毎年の音楽祭に参加し、2005年愛知万博には連盟主催の演奏会にも出演する予定です。今年第11回になる「第九」は、ドイツのヨッヘム・ホッホシュテンバッハさんの指揮で、さらに美しいベルカントな演奏が出来るものと張り切っています。ご期待下さい。（団長・山田伊素子）

管弦楽 春日井市交響楽団

市民オーケである春日井市交響楽団は、第九の演奏会を春日井でも開きたいという市民の要請から生まれました。それを受けて、「市民が演奏し・市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」として、市内の音楽愛好家を中心に、1990年（平成2年）11月に創立されました。愛称「カボ」（KAPO）は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カボ」（capo 頭・先頭に立つ者）の思いもあります。毎年、7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。今年は、3月に「春日井音楽コンクール受賞者記念演奏会」をはじめ、9月に伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団と共演の「オーケストラってなに?」やドイツから4人のソリストを招いての《フィガロの結婚》上演、「春日井市私立幼稚園協議会教員研修会」などにも出演、文化フォーラム春日井での「団内演奏会」など活躍の場を拡げています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などからなる60名。私たちにとって、最大の喜びは、一人でも多くのみなさまに演奏会においでいただき、クラシック音楽を好きになっていただくことです。そのために、「春日井で名曲の名演奏を」と心がけています。これからも、さらに、市民のみなさまに親しまれ、愛されるカボとして、市民音楽活動をつづけて参ります。温かいご支援をお願いいたします。（団長・花村浩克）

※都合により出演者の変更がある場合があります。

〈一気呵成の迫力ある第九を〉

「春日井市民第九演奏会」も、今年で第11回を迎えます。合唱団の参加者や聴衆も年々増えつづけ、ますます人気の春日井の「第九」です。これまでの「春日井第九演奏会」を振り返っても、市民3000人が集まった「春日井市制50周年記念演奏会」に始まり、「NYから招いた指揮者とソリスト」「音大学生による第九」「ウィーンの指揮者三羽がらす（ドゥルカー、タイス、カヴァツァ）連続第九演奏会」「イタリアのプリマドンナとイタリアの名指揮者」など、それぞれに大胆な企画で、市民のみなさまの熱い期待に応えてまいりました。第11回の今年も、ドイツからヨッヘム・ホッホシュテンバッハさんをお招きしての「本場の第九」です。指揮者の名前の「ホッホ」は「高い」、「シュテン」は形容詞の最上級を作る語尾で、「一バッハ」は「川」です。ホッホシュテンバッハとは、「もっとも高い川」、すなわち、「最上川」（もがみがわ）ということになります。音楽の流れを集めて早い、一気呵成（いっきかせい）の迫力ある第九が期待されます。ソリストには、昨年好評であった四人のみなさまに再度お願いしました。市民のみなさまの一年分の感動をまとめて再現する「春日井市民第九演奏会」です。ご家族おそろいでお出かけ下さい。参加者351人全員でお待ちしています。

（音楽監督 都築正道：中部大学教授）